



平成 18 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 東邦化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード番号 4409 東証第 2 部)
問合せ先 経理部長 井上 豊
(TEL . 03 - 5550 - 3735)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 11 日に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 19 年 3 月期個別業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	29,000	500	320
今 回 修 正 予 想 (B)	29,500	680	440
増 減 額 (B - A)	500	180	120
増 減 率 (%)	1.7	36.0	37.5
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	28,453	226	167

2 . 平成 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	32,700	500	280
今 回 修 正 予 想 (B)	33,000	770	460
増 減 額 (B - A)	300	270	180
増 減 率 (%)	0.9	54.0	64.3
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	31,632	366	230

3．修正の理由

売上高は、上期に続き下期もトイレタリー用界面活性剤や土木建築用薬剤の更なる拡販、ロジン系乳化重合剤等の海外市場向け販売の増加、及び電子・情報産業用の微細加工用樹脂の回復等が続く見通しであり、連結・個別ともに当初予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、第3四半期が原料高のピークを迎える見通しというマイナス要因はあるものの、上記増収効果に加え、製品価格の一部是正と更なるコストダウンに取り組んでまいります。

こうした結果、通期業績予想は、連結・個別ともに、経常利益、当期純利益で、当初予想を上回る見込みです。

以 上